

> 株主メモ

事業年度 4月1日から3月31日まで

期末配当金
受領株主確定日 3月31日

中間配当金
受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
Tel 0120-094-777 (通話料無料)

公告方法 電子公告
ホームページ: <http://www.soft99.co.jp/ir/koukoku.html>
電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは
日本経済新聞に掲載いたします。
※ 当社の貸借対照表、損益計算書はEDINET (金融商品取引法に基づく有価
証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム) にて開示しております。

単元株式数 100株

上場金融商品取引所 株式会社東京証券取引所市場第二部

インターネットホームページ <http://www.soft99.co.jp>

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各店舗でお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店及び全国各支店でお支払いいたします。



第58期 年次報告書

平成23年4月1日 > 平成24年3月31日

クルマ・住まい・暮らしのすべてのシーンで、 「キレイをキープする企業」を目指します。



代表取締役社長 渡辺 泰

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第58期年次報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

中期経営計画「Spiral Up “FINAL”」の初年度であった前期は、東日本大震災の影響が残る不透明な状況にはじまり、欧州の金融不安や歴史的な円高の影響等、激変する事業環境の中での取り組みとなりました。

そのような中、当社グループでは、一新した経営理念「生活文化創造企業」のもと、お客様に長く愛される製品・サービスの創造を目指して営業活動に努め、「ガラコワイパー」の更なる販売店舗の拡大や自動車用芳香剤市場への本格的再参入、屋外被塗装物用コーティング剤などクルマ以外の市場開拓と新用途製品の開発等、一定の成果を上げることができ、通期連結業績では前年を上回る結果となりました。

今後も当社グループは、ファインケミカル事業の「薄膜技術による物体表面コーティング技術」と、ポーラスマテリアル事業の「高機能多孔質体技術」を軸に、“未来の『あたりまえ』を発見する”ため、常に顧客の目線を意識して、創意工夫をもって製品とサービスを創出し続けてまいります。そして、ひき続きクルマ・住まい・暮らしのすべてのシーンで「キレイをキープする企業集団」として、アジアNo.1を目指すとともに、日本はもとより、アジア圏の「元気」のリーダーとなるよう邁進してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともご支援とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

平成24年6月

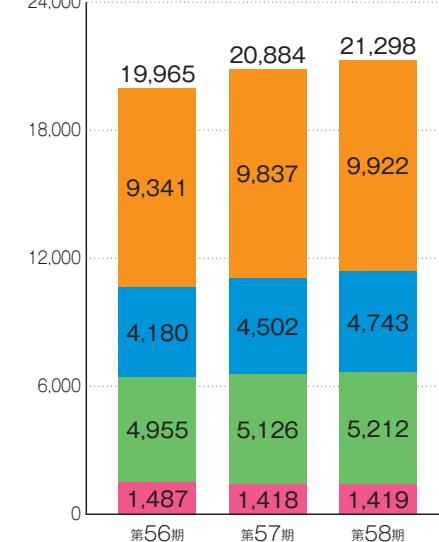


》 連結業績概況

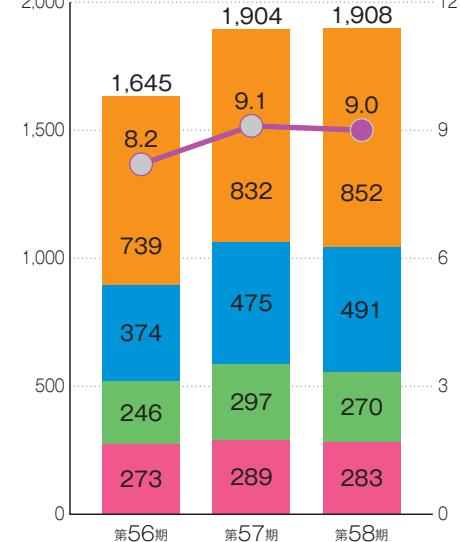
連結売上高については、ポーラスマテリアル事業部門において、産業資材部門の海外向け販売の増加や、生活資材部門の夏季用冷却グッズの販売が増加したこと、そしてファインケミカル事業部門とサービス事業部門においても前年同期を上回る売上高となったことにより、増収となりました。

利益面については、売上高の伸長による利益の増加や、販管費の削減に努めたことで、営業利益は前年同期を上回る結果となりました。また、経常利益も前年同期を上回る結果となり、前期に多額に計上した特別損失が当期はなくなったことで、当期純利益についても前年同期を上回る結果となりました。

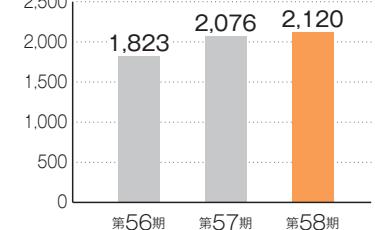
》 売上高
(単位：百万円)



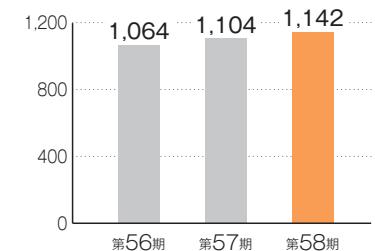
》 営業利益、売上高営業利益率
(単位：百万円) (単位：%)



》 経常利益 (単位：百万円)



》 当期純利益 (単位：百万円)



■ ファインケミカル ■ ポーラスマテリアル ■ サービス ■ 不動産関連 ● 売上高営業利益率

「東日本大震災」の影響と当社グループの取り組み

平成23年3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」では、当社及び当社グループをとりまく環境も激変し、不透明な状況下での活動となりました。

そのような中でも、私たちは「今できること」を考えながら、次につながる為の活動に取り組んでまいりました。ここではこの地震による当社及び当社グループへの影響や私たちの取り組みについてご報告いたします。

》当社及び当社グループの被災状況

当社及び当社グループにおいては、人的被害は無く、物的被害については軽微なものにとどまりました。

- (株)ソフト99コーポレーション仙台支店（仙台市宮城野区）
支店建物や備品に軽微な損傷が見られましたが、重大な被害は発生しませんでした。
- アイオン(株)関東工場（茨城県古河市）
建物や設備に軽微な損傷が発生しました。地震発生後は設備点検や計画停電実施への対応、そして交通事情の混乱の影響により数日間操業を停止しましたが、その後は通常の生産体制に復旧しました。

》サプライチェーンの寸断による影響とその対応

サプライチェーンの寸断により自動車生産が停止。「クルマが止まった」ことで当社グループのクルマに関わる事業も影響を受けました。一方で、原材料の供給不足により生産活動への影響も懸念されました。

自動車生産の停止による新車販売減

- 新車販売時に施工される業務用コーティング剤の販売が低迷。その後は自動車販売の回復とともに製品販売も回復しました。
- 自動車サービス関連事業では、自動車の乗り控えによるサービス需要の減少や、損害保険業界が震災被害の対応を優先したことにより、钣金の損害保険会社からの誘導入庫が減少し、前半は苦戦しました。
- 一方で、これまで取り組んできた「新しいことへのチャレンジ」を加速させ、コーティング剤の自動車以外の新用途への展開も積極的に行いました。

原材料の供給不足の懸念

- 原材料工場の被災による消費者向け製品の原材料供給不足により、生産活動への懸念が生じましたが、仕入先の協力を得ながら代替原料の調達に努めました。



業務用コーティング剤



屋外設置物用コーティング剤

》原発事故と電力不足の懸念への対応

東京電力福島第一原子力発電所の事故により、関東地区においては電力供給への不安が広がった中、関東地区の当社グループの各拠点においても様々な取り組みを行いました。

また、この事故により大気中へ放出された放射性物質について、海外取引先の不安を払拭するための活動も行いました。

電力供給不足の懸念に対する取り組み

- アイオン(株)関東工場では、節電要請に基づき、一部工程の操業シフトの変更等を実施しました。電力不足の懸念が解消された9月以降は、通常の生産体制に戻りました。
- 当社グループは過去から節電に対する取り組みを実施しており、今後も工場をはじめ、主要な施設において使用電力の削減にむけた活動を実施してまいります。



アイオン(株)関東工場（茨城県古河市）

海外向け貨物の放射性物質検査

- (株)ソフト99コーポレーションとアイオン(株)では、海外取引先からの製品の放射能汚染の不安を払拭するため、輸出される貨物について放射性物質測定を実施しました。結果、放射性物質は検出されず、海外の取引先へも通常通りの出荷を行っています。



海外向け貨物の放射性物質検査

》被災地に対する支援活動等

- (株)ソフト99コーポレーションでは、地震により甚大な被害を受けた被災者の皆さまの救援や被災地の復興に役立てていただくために、義援金として日本赤十字社に800万円の寄付を実施いたしました。また、ソフト99グループの従業員へも災害募金を呼びかけました。
- 各拠点に非常用物資の備蓄を行う等、自社従業員の安全確保に努め、帰宅困難者発生時の対応についても継続的に対策を立てています。

ファインケミカル

Fine Chemicals

- サプライチェーン寸断の影響により新車販売が低迷し、業務用製品販売は苦戦するも、後半からは回復基調に。
- 「愛車をキレイに長く乗りたい」という消費者のメンテナンス意識の高まりも見られた。
- 歴史的な円高の影響で輸出は苦戦する中、新興国市場の開拓をすすめ、中国現地生産品のアイテムを拡充。

売上高

9,922百万円

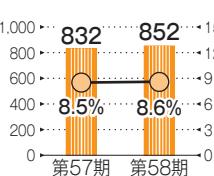
営業利益

852百万円

売上高 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



● 営業利益率

- 主力の自動車ボディお手入れ製品の販売では、最需要期である春先に消費低迷の影響を受け苦戦。
- 「ガラコワイパーパワー撥水」を中心としたワイパーや、自動車用補修材「99工房」の販売が増加。店頭での積極的な営業活動をすすめたことで、ガラス用撥水剤の販売も増加し、消費者市場向け製品の販売は増収に。
- 業務用製品販売では、新車販売時に施工されるコーティング剤の販売が苦戦。後半は新車販売の回復に伴って販売も回復するが、通年では減収に。
- 海外向け販売は増収に。円高により東南アジアの既存取引先からの受注が鈍るも、落ち込みをカバーすべく新興国市場の開拓をすすめる。ロシア向け販売では、現地での積極的な販売促進活動により販売が順調に推移。中国市場においては、日本からの輸入は減少したが、現地生産の新製品が好調に推移。

サービス

Service

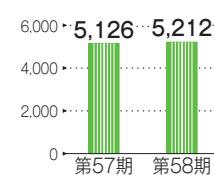
売上高

5,212百万円

営業利益

270百万円

売上高 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



● 営業利益率

オートサービス事業

- 年度前半は入庫が苦戦するも、新規顧客開拓のための積極的な営業活動を行い、損害保険会社からの入庫誘導も軌道に乗り増収となった。一方で、事業拡大のための人員増強に伴う費用の増加により、減益に。

自動車教習事業

- エコドライブ等の企業向け研修は順調に推移するも、普通免許の入所が伸び悩み減収となった。一方で稼働バランス向上に取り組んだことで増益となった。

生活用品企画販売事業

- 防災・節電関連商品の販売増加により増収増益に。

ポーラスマテリアル

Porous Materials

- 東日本大震災の影響により、夏季の節電対応に備えた得意先の備蓄生産に対応。
- その後国内半導体業界は在庫調整の局面に。
- タイ洪水の影響を受けたハードディスク業界向け販売が苦戦。
- 猛暑・節電対策グッズ「サモコンクール」の販売が増加。

売上高

4,743百万円

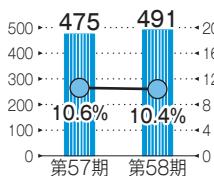
営業利益

491百万円

売上高 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



● 営業利益率

産業資材部門

- 半導体向け用途では、国内では期初から夏場にかけて、得意先の節電対策のための備蓄生産を受け受注が増えるも、後半は苦戦。海外向け販売の増加が国内の苦戦をカバーして増収に。
- ハードディスク向け用途では、タイの洪水による影響を受け販売が苦戦。産業資材部門全体では、海外の半導体向け販売の増加により増収に。

生活資材部門

- 猛暑・節電対策商品として、気化熱利用の冷却グッズ「サモコンクール」の販売が大幅に増加。
- 自動車お手入れ用品の販売が国内で苦戦。円高により海外向け販売も苦戦したが、「サモコンクール」の販売増加がこの落ち込みをカバーしたことで生活資材部門全体では増収に。

不動産関連

Real Estate

売上高

1,419百万円

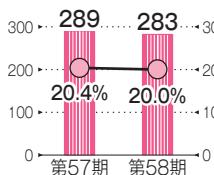
営業利益

283百万円

売上高 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



● 営業利益率

不動産賃貸事業

- 当社の所有する主な物件で賃料収入が安定し、ほぼ前年同期並みの売上高に。

温浴事業

- お客様満足度向上やリピーター獲得のための取り組みを行い、来店客数の減少や客単価の落ち込みは底を打つも、整体等の付帯サービス売上の低迷により減収に。

連結財務諸表

》 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期 (24.3.31 現在)	前期 (23.3.31 現在)	科目	当期 (24.3.31 現在)	前期 (23.3.31 現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	14,885	14,443	流動負債	3,171	2,558
現金及び預金	8,290	7,166	支払手形及び買掛金	1,081	1,013
受取手形及び売掛金	3,393	3,064	未払金及び未払費用	948	900
有価証券	402	1,614	その他	1,141	644
たな卸資産	2,260	2,051	固定負債	1,995	1,837
その他	538	547	退職給付引当金	1,030	960
固定資産	29,213	27,814	その他	965	876
有形固定資産	22,061	22,043	負債合計	5,167	4,396
建物及び構築物	5,156	5,076	(純資産の部)		
土地	15,756	15,642	株主資本	38,560	37,720
その他	1,148	1,324	資本金	2,310	2,310
無形固定資産	238	218	資本剰余金	3,116	3,116
のれん	49	65	利益剰余金	33,464	32,624
その他	189	152	自己株式	△ 329	△ 329
投資その他の資産	6,913	5,552	その他の包括利益累計額	370	142
投資有価証券	5,704	4,603	その他有価証券評価差額金	224	7
その他	1,208	949	土地再評価差額金	121	110
資産合計	44,099	42,258	為替換算調整勘定	24	24
			純資産合計	38,931	37,862
			負債・純資産合計	44,099	42,258

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

》 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 (23.4.1 から 24.3.31 まで)	前期 (22.4.1 から 23.3.31 まで)
売上高	21,298	20,884
売上原価	14,054	13,596
売上総利益	7,243	7,287
販売費及び一般管理費	5,335	5,383
営業利益	1,908	1,904
営業外収益	261	198
営業外費用	49	26
経常利益	2,120	2,076
特別利益	0	130
特別損失	55	483
税金等調整前当期純利益	2,065	1,724
法人税、住民税及び事業税	800	630
法人税等調整額	122	△ 25
少数株主利益(控除)	—	14
当期純利益	1,142	1,104

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

》 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期 (23.4.1 から 24.3.31 まで)	前期 (22.4.1 から 23.3.31 まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	2,107	1,511
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,592	△ 2,214
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 348	△ 397
現金及び現金同等物に 係る換算差額	0	△ 1
現金及び現金同等物の 増加額(又は減少額)	△ 834	△ 1,100
現金及び現金同等物の 期首残高	7,915	9,016
現金及び現金同等物の 期末残高	7,081	7,915

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

》 連結株主資本等変動計算書 当期(23.4.1から24.3.31まで)

(単位:百万円)

科目	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計	
当期首残高	2,310	3,116	32,624	△ 329	37,720	7	110	24	142	37,862
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 302		△ 302					△ 302
当期純利益			1,142		1,142					1,142
自己株式の取得										
株主資本以外の変動額合計						216	11	0	228	228
連結会計年度中の変動額合計	—	—	840	—	840	216	11	0	228	1,068
当期末残高	2,310	3,116	33,464	△ 329	38,560	224	121	24	370	38,931

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表

貸借対照表

科目	当期 (24.3.31 現在)	前期 (23.3.31 現在)
(資産の部)		
流動資産	10,801	10,526
現金及び預金	7,303	6,040
受取手形	336	341
売掛金	1,178	963
有価証券	402	1,614
たな卸資産	1,387	1,380
その他	192	185
固定資産	28,292	27,083
有形固定資産	16,172	16,305
建物	3,918	4,000
土地	11,816	11,813
その他	434	491
無形固定資産	48	67
投資その他の資産	12,071	10,711
投資有価証券	5,704	4,602
関係会社株式	2,432	2,432
関係会社長期貸付金	3,575	3,663
その他	358	12
資産合計	39,093	37,610

損益計算書

科目	当期 (23.4.1 から 24.3.31 まで)	前期 (22.4.1 から 23.3.31 まで)
売上高	10,785	10,327
売上原価	6,051	5,545
売上総利益	4,733	4,782
販売費及び一般管理費	3,602	3,641
営業利益	1,130	1,140
営業外収益	568	277
営業外費用	35	22
経常利益	1,663	1,395
特別利益	—	0
特別損失	48	453
税引前当期純利益	1,614	942
法人税、住民税及び事業税	517	345
法人税等調整額	51	△ 36
当期純利益	1,046	633

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

科目	当期 (24.3.31 現在)	前期 (23.3.31 現在)
(負債の部)		
流動負債	1,412	968
買掛金	483	425
未払金	187	94
その他	741	447
固定負債	951	884
退職給付引当金	324	288
その他	626	595
負債合計	2,363	1,852
(純資産の部)		
株主資本	36,383	35,639
資本金	2,310	2,310
資本剰余金	3,116	3,116
利益剰余金	31,287	30,543
自己株式	△ 329	△ 329
評価・換算差額等	346	118
その他有価証券評価差額金	224	7
土地再評価差額金	121	110
純資産合計	36,729	35,757
負債・純資産合計	39,093	37,610

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書 当期(23.4.1から24.3.31まで) (単位：百万円)

科目	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	評価・換算差額等	純資産合計
当期首残高	2,310	3,116	30,543	△ 329	118	35,757
事業年度中の変動額						
剰余金の配当			△ 302			△ 302
当期純利益			1,046			1,046
自己株式の取得						
株主資本以外の変動額合計					228	228
事業年度中の変動額合計	—	—	743	—	228	972
当期末残高	2,310	3,116	31,287	△ 329	346	36,729

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況 & 会社の概要

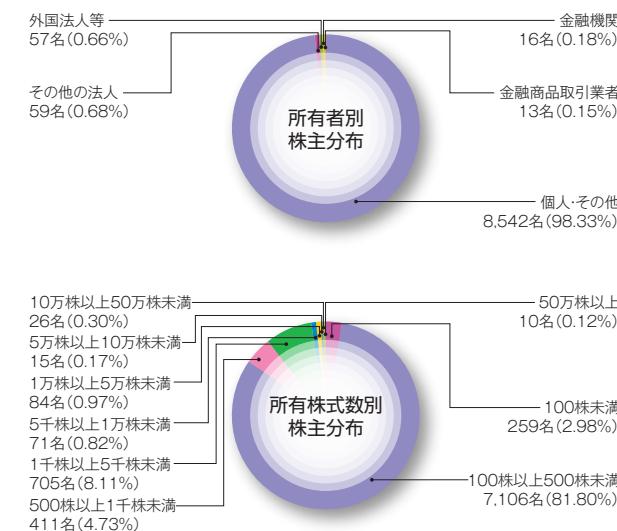
株式の状況 (平成24年3月31日現在)

株式の総数	
発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	22,274,688株

株主数	
当期末株主数	8,687名 (自己名義を除く)

大株主	持株数	議決権比率
サントレード株式会社	3,246,528株	15.0%
田中 秀明	1,496,976	6.9
鈴木 幹子	1,492,656	6.9
株式会社三菱東京UFJ銀行	799,200	3.6
株式会社みずほ銀行	709,600	3.2
田中 信	603,720	2.7
佐藤 佐世子	594,192	2.7
ゴールドマンサックスインターナショナル	553,600	2.5
田中 明三	552,424	2.5
田中 斗葵恵	502,624	2.3

※上記の他、自己株式が660,891株ございます。



会社の概要 (平成24年3月31日現在)

商号	株式会社ソフト99コーポレーション
設立	昭和29年10月28日
本社	大阪市中央区谷町二丁目6番5号
資本金	2,310,056,000円
従業員数	195名
事業内容	自動車用化学製品の製造及び販売

役員 (平成24年6月27日現在)

代表取締役社長	渡 辺 泰
取締役会長	田 中 明 三
専務取締役	平 野 泰 彦
常務取締役	西 川 保
常務取締役	辻 平 春 幸
取締役	奥 埜 佳 秀
取締役	田 中 秀 明
取締役	石 居 誠
取締役	田 中 信
常勤監査役	古 居 祐
監査役	平 井 康 博
監査役	竹 村 聡
監査役	樋 口 秀 明